

令和8年8月31日

令和9年度の財政投融资計画要求書

(機関名：国立研究開発法人国立循環器病研究センター)

1. 令和9年度の財政投融资計画要求額

区 分	令和9年度 要 求 額	令和8年度 計 画 額	(単位:億円、%) 対前年度比	
			金額	伸率
(1)財政融資	4	—	4	皆増
(2)産業投資	—	—	—	—
うち 出 資	—	—	—	—
うち 融 資	—	—	—	—
(3)政府保証	—	—	—	—
うち 国内債	—	—	—	—
うち 外 債	—	—	—	—
うち 外貨借入金	—	—	—	—
合 計	4	—	4	皆増

2. 財政投融资計画残高

区 分	令和9年度末 残高(見込)	令和8年度末 残高(見込)	(単位:億円、%) 対前年度比	
			金額	伸率
(1)財政融資	329	350	△20	△5.8
(2)産業投資	—	—	—	—
うち 出 資	—	—	—	—
うち 融 資	—	—	—	—
(3)政府保証	—	—	—	—
うち 国内債	—	—	—	—
うち 外 債	—	—	—	—
うち 外貨借入金	—	—	—	—
合 計	329	350	△20	△5.8

3. 事業計画及び資金計画

事業計画

(単位：億円)

区 分		令和9年度 要 求 額	令和8年度 計 画 額	増 減
事業計画の合計額		4	—	4
(内訳)	医療機器整備事業	4	—	4

資金計画

(単位：億円)

区 分		令和9年度 要 求 額	令和8年度 計 画 額	増 減
事業計画実施に必要な資金の合計額		4	—	4
(財源)	財政投融资	4	—	4
	財政融資	4	—	4
	産業投資	—	—	—
	政府保証	—	—	—
	自己資金等	—	—	—
	一般会計交付金	56	—	56
	借入金償還	△24	—	△24
	その他	△32	—	△32

財政投融資を要求するに当たっての基本的考え方

(機関名：国立研究開発法人国立循環器病研究センター)

<政策的必要性>

1. 政策目的の実現に必要な範囲内で、金融・資本市場に関与するに際し、官民の適切な役割分担がなされているか。

国立研究開発法人国立循環器病研究センターは、循環器病に係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等を行うことにより、国の医療政策として、循環器病に関する高度かつ専門的な医療の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としている。

我が国における循環器病に対する中核的な医療機関として、先進医療を含む高度かつ専門的な医療の提供を引き続き推進するため、老朽化した医療機器の整備等に財政投融資を活用するものである。

<民業補完性>

2. 「民間にできることは民間に委ねる」という民業補完性を確保する観点から、対象事業の重点化や効率化をどのように図っているか。

国立循環器病研究センターは、日本人の三大死因のうちの二つを占める心臓病及び脳卒中を含む循環器疾患について、国家戦略としてその究明と制圧に取り組んでいる。

高度先駆的医療の実施、新たな診断・治療法の開発研究、専門医療従事者の研修及び情報発信を一体的に行っており、採算が期待できないこれらの事業を民間病院で実施することは困難である。

国立循環器病研究センターにおいては、国の医療政策と一体になって政策医療を推進できるよう、臨床研究や医療の均てん化に取り組む中で明らかになった課題や、我が国の政策医療の展開等について、国に政策提言を行うこととされており、その中で、国立循環器病研究センターは、地域における循環器医療の中核施設として、質の高い医療の提供、地域の医療機関や住民への情報発信、循環器病専門医の育成などの役割を果たしている。

<有効性>

3. 財政投融資を活用して当該事業を行うことにより、自助努力の促進による事業の効率的な実施や受益者負担の実現を通じて租税負担の抑制が図られているか。

財政投融資による医療機器整備を実施することにより、医療の質の確保や均てん化を進め、より診療機能の強化を図り、検査・治療の効率化など患者の利便性向上を実現することで国民に対してより良質の医療提供につながることが期待される。

<償還確実性又は収益性の確保>

4. 財政融資や政府保証による資金調達を予定している場合の償還確実性や、産業投資による資金調達を予定している場合の収益性は確保されているか。

財政投融資資金の償還財源は診療収益としているところであり、整備により確保できる医業収益及びランニングコストの精査を実施するとともに、センター全体の収入確保・支出縮減方策を実施し、医療機器の中央管理化を推進することで機器の集約化、配置の適正化により着実にコスト削減と経営改善を進めていくことから、償還確実性については問題ないとする。

＜財投計画の運用状況等の反映＞

5. 財投編成におけるPDCAサイクルを強化する観点から、財投計画の運用状況を財政投融資の要求内容にどのように反映しているか。

令和9年度における国立循環器病研究センターの財政投融資は4億円の運用を予定している。

令和9年度要求については、当センターの経営状況、医療機器等の老朽化に伴う更新整備、今後の当センターの機能の充実の必要性を総合的に勘案し、財政投融資の要求内容に反映している。

＜その他＞

6. 上記以外の特記事項

成長戦略等に盛り込まれた事項について

(機関名：国立研究開発法人国立循環器病研究センター)

「経済財政運営と改革の基本方針2026」、「日本成長戦略」、「地域未来戦略」に盛り込まれた事項に関する要求内容

●経済財政運営と改革の基本方針 2026

第3章 責任ある積極財政に基づく「中長期経済財政計画」

2. 全世帯型社会保障の構築

(2) 成長型経済に合わせた持続可能な社会保障制度

(創薬・先端医療イノベーション)

(攻めの予防医療と疾病対策)

●日本成長戦略

Ⅱ. 17 の戦略分野における官民投資の促進

2. 62 の主要な製品・技術等の官民投資ロードマップの実行

(11) 創薬・先端医療

①ファーストインクラス 38 製品・ベストインクラス 39 製品（医薬品、再生医療等製品）

③バイオ医薬品・再生医療等製品等（再掲：（10）合成生物学・バイオ②に同じ。）

④革新的デバイス（AI、ロボティクス等）を活用した先端医療

⑤ライフログデータ等を活用したヘルスケア関連サービス

●地域未来戦略

第3章 政府が講ずべき本戦略に関する施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項

第1節 強い地域経済の構築に貢献する主な施策の推進

ア. 産業クラスターの形成に伴う高付加価値型産業創出

Ⅱ. 計画実現に向けた支援施策【政策手段】

1. A. 戦略産業クラスター計画における課題と主な支援施策

(3) 関連するインフラ及び拠点整備

○主な施策例

✓創薬・先端医療分野における研究施設・共用設備の整備や知財戦略支援等

7 年 度 決 算 に 対 す る 評 価

(機関名：国立研究開発法人国立循環器病研究センター)

1. 決算についての総合的な評価

令和 4 年 9 月から開始している理事長、病院長等と各診療科の部長等（約 20 名）との毎月のミーティングを令和 7 年度も引き続き実施し、共通の目標（新入院患者数、手術数及びカテーテル治療件数：対令和 4 年度比 20%増）を共有した上で、その実現に向けて、打ち手を検討し、実行に繋げていく取組を実施した。

その結果、令和 7 年度決算における新入院患者数は 13,635 人（対前年度比：▲634 人）となったものの、医業収益は 306.9 億円（対前年度比：+8.9 億円）となり、4 期連続の増収を達成したため、医業収支差は約 7.0 億円（対前年度比：+8.1 億円）と大幅に改善し、平成 30 年度以来 7 年ぶりに黒字化を達成した。

経常収支差は約 1.9 億円の赤字であったが、対前年度比では赤字額が約 4.3 億円縮減しており、経営改善の成果が表れている。

2. 決算の状況

(1) 資産・負債・資本の状況

○資産	715 億円（前年度 735 億円） 有形固定資産の減
○負債	514 億円（前年度 526 億円） 長期借入金の減
○純資産	201 億円（前年度 209 億円） その他行政コスト累計額（減価償却相当累計額）の減

(2) 費用・収益の状況

○費用	393 億円（前年度 388 億円） 給与費の増、材料費の増、減価償却費の減
○収益	391 億円（前年度 382 億円） 入院・外来診療収益の増、補助金等収益の増、退職等給付引当金見返に係る収益の増